

付録D：申請書共通ボキャブラリの作成手順

- (1) 紙様式上の記載項目を抽出

<例>
主たる事務所の名称及び所在地
輸入基地の名称及び所在地
当該乙種電気用品の品名
変更した内容

- (2) 記載項目の記載情報を分解（1 記載項目で1 記載情報のときは不要）

<例>
主たる事務所の名称 + 主たる事務所の所在地
輸入基地の名称 + 輸入基地の所在地
当該乙種電気用品の品名
変更した内容

- (3) 分解された記載情報のうち、修飾的表現にあたる部分を削除

<例>
~~主たる事務所~~の名称 + ~~主たる事務所~~の所在地
~~輸入基地~~の名称 + ~~輸入基地~~の所在地
当該乙種電気用品の品名
変更した内容

- (4) 残った情報がモジュール

<例>
名称
所在地
名称
所在地
品名
内容

- (5) モジュール同士の意味を検討して、同様のものに分類

<例>

(法人団体名を意味するモジュール) 名称 名称

(住所を意味するモジュール) 所在地 所在地

(品名を意味するモジュール) 品名

(変更内容を意味するモジュール) 内容

- (6) 頻出するモジュールで、申請書共通ボキャブラリを構成

<例> (法人団体名を意味するモジュール) と

(住所を意味するモジュール) が

申請書共通ボキャブラリとなる。